

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農業振興資金融資及び利子補給事業			会計	款	項	目	大	小
				01	06	01	03	03	68
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内農業者	意図	本市における農業者の農業経営の安定及び農業振興を図る。
事業内容	市内において農業を自ら営む者に対し、融資機関を通じて農業振興資金の融資を行うとともに、これに対する利子の一部を補給する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年度新規事業であり、平成28年度の利用実績は2人（合計5件）であった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	利用実績人数			2	人	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆平成28年度の利用実績は2人（合計5件）で、当該資金による購入資材は、米光選別機・穀物用乾燥機・草刈機・ビニールハウスである。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				6,436,113				
事業費(b)(円)				5,063,113				
うち一般財源				63,113				
職員給与費(c)(円)				1,373,000				
人役・職員(人)				0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】	③取組の課題	市内農業者への周知
②今年度(H28)に実施した取組	【新規事務事業により記載なし】	④今後の改善計画	・J Aと協力し周知を図る。 ・農家回覧で周知を図る。